

第4回まちづくり合同セミナー（シリーズ1）：講演「良質なまちづくりとは何か？」

サブテーマ：六本木三丁目の東側の地区のアイデンティティづくりを英国の経験より話す。
いつまでも住み続けられる街とは？参加のまちづくりを楽しもう！

- 日時：2017年1月29日（日）14：00～16：00
- 場所：住友不動産六本木グランドタワー9Fカンファレンスセンター
- 講師：連健夫氏：建築家・港区まちづくりコンサルタント、早稲田大学、首都大学東京非常勤講師

①癒され元気になる街並みを英国に見る

村の構成要素は教会＋公園＋パブ（食堂・バー）であり、新しい集合住宅の設計にも活かされています。イギリス庭園は自然の景観、地形を活かすのが特徴です。前庭は街並みに貢献する半公共的な場として捉えており、コミュニティと地域資産へ貢献しています。つまり個人のストック（建物や庭広場）が社会のストック（街並、地域資産）になっています。



②良質な建築・街づくりの仕組み（英国 CABE）

英国には良質な建築・まちづくりを行うシステムとして CABE（ケイブ）という組織があります。公共建築や一定規模以上の建築に対して、専門家が入って協議調整が行われています。

③街づくりのポイント：地域のタカラ（良い点）を活かすと共に、アラ（問題点）を解決し地域の特徴を活かすこと。耐震化・不燃化を図り安心、安全な環境を作ること。街づくり条例をうまく活用し、街の個性（アイデンティティ）を共有化することです。

第4回まちづくり合同セミナー（シリーズ2）：「コラージュづくり大会」

将来の街のイメージを各自、持ち寄ってコラージュ（切り貼り絵）を皆で作りました！

- 日時：2017年3月12日（日）14：00～16：00
- 場所：港区麻生区総合支所「区民協働スペース」 ■参加者（47名）



■コラージュの例①

都会の森、緑が沢山、夢もある、お祭り盛り上がりが見える、美味しい店、美しい街、触れ合いがドレール電柱なし、子供たくさん、伝統残す皆が集まれる場、芸術

■コラージュの例②

食（気軽に入れるお店）戸建（庭）もある街、緑（散歩道）がある街、ルーファード、特徴ある三丁目の街、一人が集まるゆとりのある空間

■まとめ

- ①顔が見える街
- ②ずっと住み続けられる街
- ③緑がいっぱいある街
- ④高層だけでなく中層や低層住宅等多様性がある街
- ⑤第三の居場所が大切！
- ⑥個性のある街（坂道、散策路、お寺）
- ⑦世間話ができる街（広場、公園）
- ⑧防災、安心安全の街
- ⑨お祭り、イベントがある街
- ⑩多世代が楽しめる街

協議会がコンサルタント契約



連健夫氏
（むらじたけお）

建築家・港区まちづくりコンサルタント
早稲田大学、首都大学東京非常勤講師

1956年京都市生まれ、東京都立大学大学院修了の後、建設会社10年勤務、胃の手術がきっかけとなり1991年退社、渡英、AAスクール留学、AA大学院優等学位取得の後、同校助手、東ロンドン大学非常勤講師、在英日本大使館嘱託を経て1996年帰国、(有)連健夫建築研究室一級建築士事務所設立、建築設計の傍ら、まちづくりに関わる。作品に「ルーテル学院大学新校舎（日本建築家協会優秀建築選）」「荻窪家族レジデンス（2016年度グッドデザイン賞）」等、著書に「心と対話する建築・家」「イギリス色の街」「対話による建築まち育て（共著）」等

第4回まちづくり合同セミナー（シリーズ3）：具体化のデザインを考える（デザインゲーム）

コラージュ大会で得られた将来の夢を、地図の上にスタイロブロックを使って、建物や広場をゲーム感覚で作りました！

デザインゲーム：住民参加のまちづくりの手法、皆で一緒に考えることにより、敷地の特徴や建物と外部空間との関係を理解すると共に将来の夢を具現化（ゾーニング配置）することになります。今回のデザインゲームは、再開発を前提にして行ったものではなく、「再開発という手法を使った場合にどのような形になるのか」をゲーム感覚で皆で作ってみようという試みです。これを通して設計条件として、①～⑥のまとめが生まれました。これをベースにして次回はプロが複数のゾーニング案を出し、皆で検討します。尚、協議会では別な機会に「再開発以外の手法」でのデザインゲームもやってみたいと考えています。

- 日時：2017年5月20日（土）14：00～16：00
- 場所：港区麻生区総合支所「区民協働スペース」 ■参加者（42名）

Aグループ



- ①住宅とオフィスタワーのエリア分け
- ②2つのタワーの領域感
- ③グランドタワーとの整合性・一体感（課題）
- ④段差を活かす場所（ロビー・エレベーター広場の）
- ⑤住民重視の地域→広場を広く、丘の感じ
- ⑥オープンスペースを活かす
- ⑦いい感じ！
- ⑧屋上庭園が欲しい！
- ⑨建設費がUPしそう。



■エリアの地図

この地図の上にスタイロブロック（建物）や色紙（オープンスペース）を配置する。高い所と低い所の差は約15m



■道具

色々な大きさのスタイロブロック（建物）、色紙（広場、公園、坂）を並べて検討した。



皆が一緒になって案を考えた。この成果を活かして、次回（7/30）はプロが作った案が複数出てくる。是非、多くの方に参加して欲しい！

Bグループ



- ①業務棟は六本木通り側に配置（ビル風が生じないデザイン）
- ②住居棟は南側に配置
- ③両棟の間に広場（六本木通り側）と公園（南側）を設ける
- ④お寺の擁壁（崖）周りは緑にする
- ⑤建物の周りに遊歩道を設ける
- ⑥広場、公園の周りにお店を配置
- ⑦広場と公園の間は大階段とスロープで繋ぐ
- ⑧寄席坂を人が歩ける坂道として継承する
- ⑨公園には池、噴水を！

■まとめ（AB共通点）

- ①六本木通り側に業務棟を配する
- ②住居棟は南側に配する
- ③2棟の間に広場、公園を設ける
- ④段差を活かす（大階段、スロープで繋ぐ）
- ⑤屋上庭園を設ける
- ⑥高層棟のデザインは大切